

平成 30 年 6 月 28 日
日 本 証 券 業 協 会

社会貢献債（ソーシャルボンド）の購入について

今般、日本証券業協会（会長 鈴木茂晴）は、基金運用の一環として、独立行政法人 国際協力機構が発行するソーシャルボンド 国際協力機構債券（JICA 債）を 2 億円購入しました。

本協会が JICA 債を購入した資金は、開発途上国の交通インフラ整備支援や災害等の影響による社会的弱者に対する支援などの有償資金協力事業に充当され、国境を越えて社会課題の解決のために活用されることとなります。

本協会は、先般より SDGs（持続可能な開発目標）¹の達成に向けた取組みを本協会の重要課題と位置付け、「SDGs 宣言」の下、積極的に取り組んでおります。また、本協会は全国の証券会社等によって構成される団体であり、これまで証券市場の発展に努めてまいりました。JICA 債をはじめとしたソーシャルボンドの購入は、証券市場が培ってきた資金調達・供給機能を活用した SDGs の達成に向けた取組みであると考えております。

証券業界は今後も、SDGs に貢献する証券市場の実現に向け、証券市場が有する資金調達・供給機能の拡充に努めてまいります。

以 上

¹ 「持続可能な開発目標」（SDGs）とは、国際連合において、先進国を含む国際社会全体の目標として 2015 年に定められた、2030 年を期限とする 17 の目標と 169 のターゲットです。我が国においても、「SDGs 推進本部」を設置し、我が国の指針として「SDGs 実施指針」を定めるなど、国際協力への取組みを進めています。また、JICA 債の発行は、「SDGs 実施指針」の具体的施策と位置付けられております。